

医療法人社団 まりも会 ヒロシマ平松病院



所在地：広島県広島市南区比治山本町11-27
 建築面積：1,402.80㎡
 延床面積：7,882.08㎡
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上8階
 設計：株式会社設計コンサルタント
 施工：建築／戸田建設(株)広島支店
 電気／旭日電気工業(株)広島支社
 移転開業：平成23年4月

S104

高度な医療ニーズへの対応と患者サービスの向上を図るため新築移転。
 照明はエリア別に最適な光源・器具を使い分け、快適かつ機能的な視環境が確保されています。

設備の充足、環境改善、よりよい医療の提供を目指して病院を新築移転

医療法人社団まりも会は、これまで運営されてきた広島市中区の八丁堀と銀山町の2つの病院を、さらなる設備の充足、環境の改善、よりよい医療の提供を目指して統合し、南区比治山本町に「ヒロシマ平松病院」として移転開業されました。1階は総合受付・8科目の診察室・各種検査室・救急室、2階はリハビリ室、3階は手術室・薬局・事務室、4階から7階は総ベッド数161床の病棟を配置した構成となっています。

患者にとつての快適性と医療従事者にとつての機能性・経済性を両立した照明計画を

総合受付・待合室は、安心して入っていける安らぎの雰囲気を出すため、円形の折り上げ天井意匠としています。照明はその内部にLEDライン器具昼白色(17.2W)を配置し、柔らかな間接光で高齢者にも配慮。その周囲には蛍光灯ダウンライトとスクエアベース照明により、天井面も壁面も明るくし、開放的な空間をつくり出しています。

各科診察室の照明は、外来患者の緊張感を柔らげ、眩しさも抑制するFHP32W4灯用スクエア器具バツフル付を採用。高効率・長寿命のほか、患者の顔色も自然に見えるRa84以上の高演色が得られています。

各検査室の照明は、32W2灯用直付器具を使用し、コントロールにて25%~100%調光を可能にして用途に応じた機能的な光空間を創出しています。

病棟のナースステーションは24時間体制で患者を見守る拠点であるため、照明は明るく、かつ目の疲れを少なくしながら極めて経済性能の高い57WLEDベースライトストレートタイプ直付形を整理配置。下面アクリル拡散カバー付により眩しさを抑制しています。

各病室の照明は、ベッド灯には上下配光の間接照明・読書灯・常夜灯を一体化した多機能タイプのホスピタルブラケットを配置し、出入口部の天井にはLED常夜灯を設置。これにより住宅のような快適性と治療にも対応する機能性を兼ね備えた明かりを提供しています。



総合受付・待合室の照明 円形の折り上げ天井内にLEDライン器具を配置した間接照明とその周囲に蛍光灯ダウンライトとスクエア器具を採用



各科外来診察室にはバツフル付スクエア器具を採用



CT室には調光形直付器具を使用



透視撮影室の照明(調光形)



遮光角制御器具による点滴室の照明



検査部門の廊下の照明



ナースステーションの照明 LEDベースライトストレートタイプ直付形を採用し、昼白色の光色で明るさを高めています



病室の照明 ベースライトに電球形蛍光灯ダウンライトを採用し、ベッド灯には間接照明・読書灯・常夜灯一体形のホスピタルブラケットを配置



医局には遮光角制御器具を配置



高出力形の直付器具で活気あるリハビリ室の照明



屋外の出入口周辺に設置したLEDソーラーライト

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考	
室内	直付器具調光形	FHT-42307N-PD9	12	32W蛍光ランプ×2	
	4灯用埋込器具	FHR-34311N-PR9	95	32Wコンパクト形蛍光ランプ×4	
	ダウンライト	FHD-31017-PM9	82	32Wコンパクト形蛍光ランプ	
	ホスピタルブラケット	FHT-51801-EL16	161	45Wコンパクト形蛍光ランプ	
	LEDベースライト	LEDT-48003W-LD9	48	LED 消費電力:57W	
	LED常夜灯	LEDD-00003N-LS1	74	LED 消費電力:0.7W	
	LEDライン器具	LEDL-06201W-LS1	12	LED 消費電力:8.6W	
		LEDL-12201W-LS1	8	LED 消費電力:17.2W	
		電球形蛍光灯ダウンライト	BFD-20001	278	21W形ネオボールZ
	屋外	ソーラーライト	SLS-12127B-IN	2	LED 消費電力:12W